



三重県難病相談支援センター

センターニュース

NO.34

所在地＝〒514-8567 津市桜橋3丁目446-34

TEL＝059-223-5035 FAX＝059-223-5064

E-mail:mie-nanbyo@comet.ocn.ne.jp

ホームページ: <http://www.mie-nanbyo.server-shared.com/>

平成27(2015)年8月発行

編集・発行＝三重県難病相談支援センター

小児慢性特定疾病のご相談 受け付けています

三重県難病相談支援センターでは、今年度から小児慢性特定疾病に関する相談も受け付けるようになりました。お子様のご病気に関しての困りごと・お悩みがありましたら、ぜひ一度ご相談ください。担当の相談員が、一緒に解決方法を探るお手伝いをさせていただきます。

◆小児慢性特定疾患治療研究事業◆

子どもの慢性疾患のうち、小児がんなど特定の疾患については、治療期間が長く、医療費負担が高額となります。小児慢性特定疾患治療研究事業は、児童の健全育成を目的として、疾患の治療方法の確立と普及、患者家庭の医療費の負担軽減につながるよう、医療費の自己負担分を補助するものです。

対象年齢は18歳未満（引き続き治療が必要であると認められる場合は、20歳未満）の児童で、現在14疾患群（704疾患）が対象として指定されています。

疾患群

- 悪性新生物 / 慢性腎疾患
- 慢性呼吸器疾患 / 慢性心疾患
- 内分泌疾患 / 膠原病 / 糖尿病
- 先天性代謝異常 / 血液疾患
- 免疫疾患 / 神経・筋疾患
- 慢性消化器疾患
- 染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群
- 皮膚疾患群

お子様の症状で悩んでいませんか。

お子様の病氣と上手く付き合いながら日常生活を送りたい…
 お子様の症状で不安がある
 お子様の看護で疲れている
 どんな些細な悩みでもご相談ください。

小児慢性特定疾病に関わる相談を受け付けています。



一緒により良い解決方法を見出しましょう。

三重県難病相談支援センター
小児慢性特定疾病担当

Tel. 059-223-5046

●相談日 月曜日～金曜日(土曜日、日曜日、祝日はお休みです)
●相談時間 9:00～16:00

〒514-8567 津市桜橋3丁目446-34
三重県津庁舎 保健所棟1階(イオン津店北、200メートルです)
Fax:059-223-5064

E-Mail mie-nanbyo@comet.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.mie-nanbyo.server-shared.com/>

三重 難病 検索

詳細については、下記までお気軽にご連絡ください。

お電話、FAX、メール、面談、どんな方法でも結構です。どうぞお気軽にご相談ください。

なお、携帯メールからご相談をいただく場合は、必ずパソコンからのメールが届くように設定をしてからお願いします。

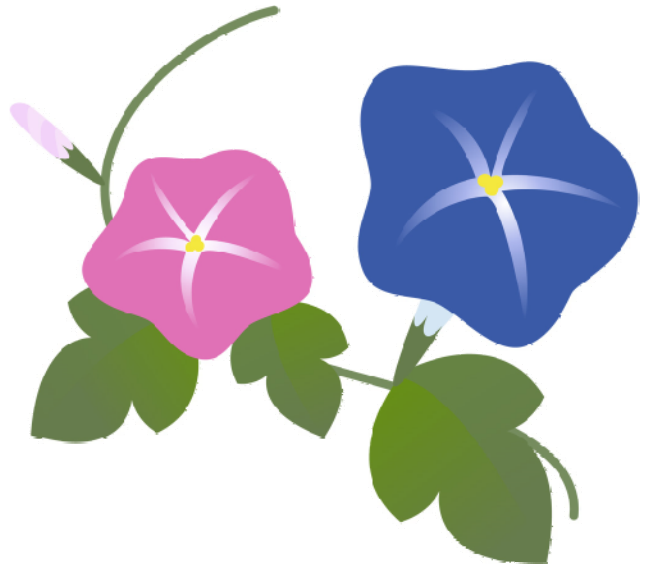
三重県難病相談支援センター（小児慢性特定疾病担当） TEL 059-223-5046

26年度三重県難病相談支援センター相談件数

26年度に、当センターで受けた相談の件数、相談の多かった疾患と内容についてご報告いたします。

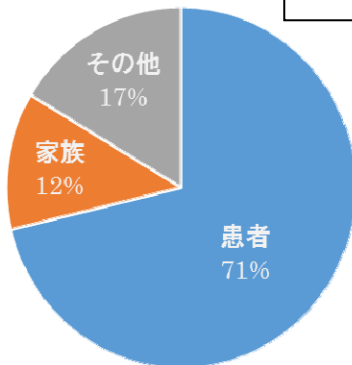
相談件数

	相談者			
	患者	家族	その他	計
電話相談	592	134	183	909
面談	197	41	46	284
メール相談 他	264	7	14	285
計	1053	182	243	1478

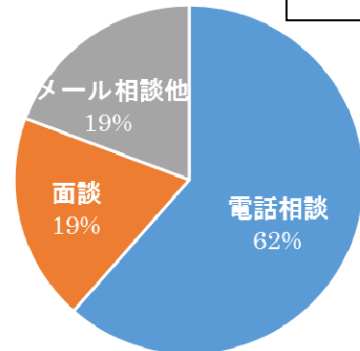


昨年度から合計で225件増加しました。

相談者別



相談方法別



相談の多かった疾患

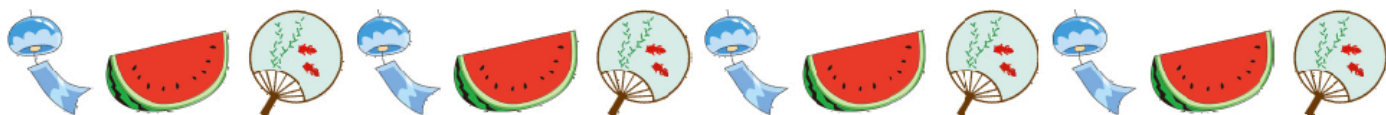
	患者本人から	患者家族から	その他
1	後縦靭帯骨化症(33)	パーキンソン病(39)	脊髄小脳変性症(17)
2	パーキンソン病(29)	後縦靭帯骨化症(8) 脊髄小脳変性症(8)	筋萎縮性側索硬化症(15)
3	網膜色素変性症(25)	もやもや病(5)	網膜色素変性症(7)
4	全身性エリテマトーデス(24) 脊髄小脳変性症(24)	全身性エリテマトーデス(4) 網膜色素変性症(4)	後縦靭帯骨化症(7)
5	ベーチェット病(22)	ベーチェット病(3) 筋萎縮性側索硬化症(3) 特発性血小板減少性紫斑病(3)	パーキンソン病(6)

(カッコ内の数字は件数です)

相談の多かった内容

	相談内容
患者	① 就労(就労関係(就労活動、難病に関する理解、労働条件など)) (304) ② センター事業関係(難病相談支援センターの事業全般、相談会、相談方法などについて) (219) ③ 経済(医療費に関すること、特定疾患治療研究事業医療費助成制度に関することなど) (160) ④ 療養生活全般(療養生活管理、緊急時の対応、在宅療養支援体制など) (86) ⑤ 患者会活動への協力(患者会の情報提供、運営支援、設立支援など) (64)
家族	① センター事業関係(難病相談支援センターの事業全般、相談会、相談方法などについて) (68) ② 経済(医療費に関すること、特定疾患治療研究事業医療費助成制度に関することなど) (37) ③ 患者会活動への協力(患者会の情報提供、運営支援、設立支援など) (23) ④ 病気の理解(病気についての情報) (11) ⑤ 就労(就労関係(就労活動、難病に関する理解、労働条件など)) (10)
その他	① センター事業関係(難病相談支援センターの事業全般、相談会、相談方法などについて) (56) ② 経済(医療費に関すること、特定疾患治療研究事業医療費助成制度に関することなど) (46) ③ 就労(就労関係(就労活動、難病に関する理解、労働条件など)) (39) ④ 病気の理解(病気についての情報) (11) ⑤ 保健・医療・福祉(各種制度、福祉サービスについて) (9)

三重県難病相談支援センターでは、これら以外にもいろいろなご相談を受け付けております。お電話、FAX、メール、面談、どんな方法でも結構です。どうぞお気軽にご相談ください。なお、携帯メールからご相談をいただく場合は、必ずパソコンからのメールが届くように設定をしてからお願いします。



難病相談支援センタースキルアップ研修

三重県難病相談支援センターでは、職員(難病相談支援員)の相談スキル向上を図るため、定期的に外部から講師を招いて、研修を行っています。26年度は下記のテーマについて学びました。

回数	テーマ
第1回	三重県がん相談支援センターについて
第2回	身体障害者手帳について
第3回	難病と障害者総合支援法
第4回	障害年金、傷病手当、失業保険について
第5回	知的障害について
第6回	車いすについて
第7回	生活保護について
第8回	個人情報の保護について
第9回	高額療養費について

今年度も引き続き研修を行い、日ごろの相談活動に活かしていけるよう、励んでまいりたいと思います。

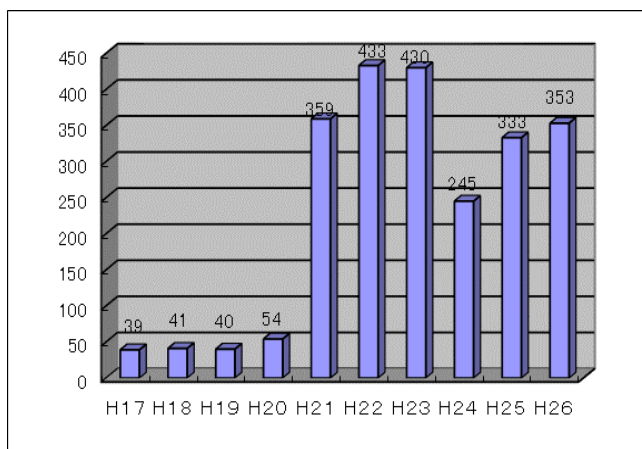
21年度～26年度の就労支援状況

難病相談支援センターの就労支援事業は、平成21年6月から始まりましたが、早や6年が経過しました。6年間の支援状況を、相談受付とその対応結果としてまとめてみました。

【 相談実績 】

(17年度からの年度別相談件数)

方法	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	計
	電話		149	198	176	122	165	154
面接		71	57	38	31	46	58	301
メール		38	31	18	0	13	7	107
企業・ 関係機関訪問等		101	145	197	92	107	132	774
その他		0	2	1	0	2	2	7
計		359	433	430	245	333	353	2153



【 就労実績 】

就労の形態	件数						
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	計
正規就労	3	6	5	6	5	7	32
継続就労	19	15	15	5	5	7	66
短時間・短期就労	0	2	3	1	2	1	9
計	22	23	23	12	12	15	107

<男女別>		H21	H22	H23	H24	H25	H26	計
男性		16	17	15	8	8	8	72
女性		6	6	8	4	4	7	35

<年代別>		H21	H22	H23	H24	H25	H26	計
10・20歳代		2	2	7	0	1	5	17
30歳代		9	6	2	1	3	3	24
40歳代		7	8	5	4	4	4	32
50歳代		3	6	5	4	4	2	24
60歳代～		1	1	0	1	0	1	4
その他		0	0	4	2	0	0	6
計		22	23	23	12	12	15	107

疾患名	件数						
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	計
網膜色素変性症	4	9	10	4	3	2	32
全身性エリテマトーデス	1	1	0	1	0	0	3
潰瘍性大腸炎	2	0	0	2	0	1	5
サルコイドーシス	1	0	0	0	0	0	1
脊髄小脳変性症	2	2	1	1	0	1	7
特発性拡張型心筋症	1	1	0	0	0	0	2
後縦靭帯骨化症	2	0	0	0	0	0	2
パーキンソン病	2	2	0	2	2	0	8
家族性突然死症候群	1	0	0	0	0	0	1
もやもや病	2	1	2	0	0	0	5
多発性硬化症	2	1	0	0	0	0	3
強皮症	1	0	3	0	0	1	5
原発性免疫不全症候群	1	1	0	0	0	0	2
神経線維腫症Ⅰ型	0	1	0	1	0	1	3
クローン病	0	2	3	0	1	2	8
多系統萎縮症	0	1	0	0	0	0	1
その他	0	1	4	1	6	7	19
計	22	23	23	12	12	15	107

事業の開始当初は対応に不慣れもあって戸惑うこともありましたが、多くの関係機関とも連携する中、上記の結果を得ることとなりました。

ご承知のように、現在の情勢は、自分が好む仕事を選んで働くような状況にありません。以前は、パートなら簡単に職探しが出来たものですが、今はハローワークに行っても思うような職を探すのが難しい状況にあります。若い世代でも、健常者でも働く場を探すのが大変で、難病患者さんや障がい者の方にとっては、さらにハードルが高くなっています。

昨年5月の国会において難病法案が可決成立し、平成27年1月より施行されています。今年7月には指定難病の対象も306疾患と拡大し、ハローワークには難病専任の難病患者就職サポーターも配属されました。

引き続き関係機関との連携強化を図りながら、難病患者さんの就労支援を続けてまいります。

皆さんが気軽に相談できる場として、当センターをご利用いただきますようお願いしています。

患者会から

日本てんかん協会（波の会） （てんかん）

昔からてんかんは、偏見や誤解の多い病気でした。それが原因で、就学や就労、結婚など様々な問題に悩みながら皆さん生活しておられます。しかし、この数年でさらにてんかんに対する世間からの風当たりは強くなっています。ご存じの通りに、てんかん患者による自動車運転の事故が相次いだからです。一部のルールを守らない方達によって……。その結果、三重県でも特に就労面で不利な事が多くなっています。正しい知識を持ってルールを守れば、自動車運転も就労も可能なのですが。

このようなご時世ですが、患者さんやご家族にとって、少しでも役に立てる活動を行っていきたくと思っています。また、てんかんで悩んでみえる方がおられましたら、どうぞお気軽に声をかけて下さい。「悩んでいるのはあなたひとりではありません！」



日本網膜色素変性症協会三重支部 （網膜色素変性症）

皆様の家族はいかがですか

T・K

私事ですが55～6歳ごろでした。会社で事務員をしていたのですが、数字や字が見にくくなってきたため眼科で診察を受けました。その時に、先生から「あなたの病名は網膜色素変性症ですよ」と告げられました。「それってなんですか」と尋ねたところ、「視野視力が狭くなり、見えにくくなり夜が困るようになる」といわれました。初めて聞く病名で、なんだかわからなくなってしまいました。息子夫婦とは離れて生活していましたので、私一人で心にしまって日々が流れていきました。

娘が結婚する前に、息子夫婦にも、「お母さんが視力が大分悪いみたいだから頼みます」と言ってからが大変！「なぜわかった時に話してくれなかったんや。」と言われ、気まずい空気になっています。皆さんのご家族は、どうでしょうか。そのような境遇にはあわれませんでしたか。そのような立場を経験された人はいませんか。息子が眼科の先生に会って、遺伝的な事もいろいろ聞いて、少しは気まずさがなくなりましたが、まだ身内の全員にはしっくりいかないのです。もう少し時間がたてばと思っています。これにめげずに前に進んでいきたいと思っています。

現在はミルクという猫ちゃんと2人で同居しています。このミルクですが、私は猫ちゃんが大好きで、一時は8匹ぐらい飼っていましたがこのミルクはととても嫉妬心が強く、他の猫どもを追っ払ってしまって自分1人が我が家へ住み着いているのです。このミルクの年齢は驚くなかれ23才です。この様な老齢化した猫ちゃんと遭遇したことはありません。と皆さんは言うて下さいますが事実23才なんです。猫の年齢は20才を人間で言うならば90才ぐらいに換算されるらしいです。それならばミルクは100才ぐらいになるのかなあ？このミルクと2人で過ごしている現状です。

難病医療費助成制度の対象疾病が拡大しました

平成27年7月1日から難病医療費助成制度の対象疾病（指定難病）が306疾病に拡大されました。

（既存の110疾病に196疾病が追加となりました）

追加された疾病の患者さんで、症状が一定程度または高額な医療費*を支払っている場合は、医療費助成制度を利用できるようになります。

※対象となる疾病の月ごとの医療費総額が、33,000円を超える月が年間3回以上ある場合

対象となる疾病一覧は、厚生労働省のホームページからダウンロードできます。「難病対策」で検索可能です。

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nanbyou/index.html



◆追加196疾患一覧◆

111	先天性ミオパチー
112	マリネスコ・シェーグレン症候群
113	筋ジストロフィー
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群
115	遺伝性周期性四肢麻痺
116	アトピー性脊髄炎
117	脊髄空洞症
118	脊髄髄膜瘤
119	アイザックス症候群
120	遺伝性ジストニア
121	神経フェリチン症
122	脳表ヘモジデリン沈着症
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症
126	ベリー症候群
127	前頭側頭葉変性症
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症
130	先天性無痛無汗症
131	アレキサンダー病
132	先天性核上性球麻痺
133	メビウス症候群
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群
135	アイカルディ症候群

136	片側巨脳症
137	限局性皮膚異形成
138	神経細胞移動異常症
139	先天性大脳白質形成不全症
140	ドラベ症候群
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん
142	ミオクロニー欠神てんかん
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん
144	レノックス・ガストー症候群
145	ウエスト症候群
146	大田原症候群
147	早期ミオクロニー脳症
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群
150	環状20番染色体症候群
151	ラスムッセン脳炎
152	P C D H 19 関連症候群
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症
155	ランドウ・クレフナー症候群
156	レット症候群
157	スタージ・ウェーバー症候群
158	結節性硬化症
159	色素性乾皮症
160	先天性魚鱗癬
161	家族性良性慢性天疱瘡
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）
163	特発性後天性全身性無汗症

164	眼皮膚白皮症
165	肥厚性皮膚骨膜症
166	弾性線維性仮性黄色腫
167	マルファン症候群
168	エーラス・ダンロス症候群
169	メンクス病
170	オキシピタル・ホーン症候群
171	ウィルソン病
172	低ホスファターゼ症
173	VATER 症候群
174	那須・ハコラ病
175	ウィーバー症候群
176	コフィン・ローリー症候群
177	有馬症候群
178	モワット・ウイルソン症候群
179	ウィリアムズ症候群
180	A T R - X 症候群
181	クルーゾン症候群
182	アペール症候群
183	ファイファー症候群
184	アントレー・ピクスラー症候群
185	コフィン・シリズ症候群
186	ロスマンド・トムソン症候群
187	歌舞伎症候群
188	多脾症候群
189	無脾症候群
190	鰓耳腎症候群
191	ウェルナー症候群
192	コケイン症候群
193	ブラダー・ウィリ症候群

194	ソトス症候群
195	ヌーナン症候群
196	ヤング・シンブソン症候群
197	1 p 36 欠失症候群
198	4 p 欠失症候群
199	5 p 欠失症候群
200	第 14 番染色体父親性ダイソミー症候群
201	アンジェルマン症候群
202	スミス・マギニス症候群
203	22q11.2 欠失症候群
204	エマヌエル症候群
205	脆弱 X 症候群関連疾患
206	脆弱 X 症候群
207	総動脈幹遺残症
208	修正大血管転位症
209	完全大血管転位症
210	単心室症
211	抗糸球体基底膜腎炎
211	左心低形成症候群
212	三尖弁閉鎖症
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症
215	ファロー四徴症
216	両大血管右室起始症
217	エプスタイン病
218	アルポート症候群
219	ギャロウェイ・モトワト症候群
220	急速進行性糸球体腎炎
222	一次性ネフローゼ症候群
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎
224	紫斑病性腎炎
225	先天性腎性尿崩症
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）
227	オスラー病
228	閉塞性細気管支炎
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）
230	肺胞低換気症候群
231	α1-アンチトリプシン欠乏症
232	カーニー複合
233	ウォルフラム症候群

234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く)
235	副甲状腺機能低下症
236	偽性副甲状腺機能低下症
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症
240	フェニルケトン尿症
241	高チロシン血症 1 型
242	高チロシン血症 2 型
243	高チロシン血症 3 型
244	メーブルシロップ尿症
245	プロピオン酸血症
246	メチルマロン酸血症
247	イソ吉草酸血症
248	グルコーストランスポーター 1 欠損症
249	グルタル酸血症 1 型
250	グルタル酸血症 2 型
251	尿素サイクル異常症
252	リジン尿性蛋白不耐症
253	先天性葉酸吸収不全
254	ポルフィリン症
255	複合カルボキシラーゼ欠損症
256	筋型糖原病
257	肝型糖原病
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症
260	シトステロール血症
261	タンジール病
262	原発性高カイロミクロン血症
263	脳腱黄色腫症
264	無βリポタンパク血症
265	脂肪萎縮症
266	家族性地中海熱
267	高 I g D 症候群
268	中條・西村症候群
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群
270	慢性再発性多発性骨髄炎

271	強直性脊椎炎
272	進行性骨化性線維異形成症
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症
274	骨形成不全症
275	タナトフォリック骨異形成症
276	軟骨無形成症
277	リンパ管腫症/ゴーハム病
278	巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）
279	巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）
280	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群
282	先天性赤血球形成異常性貧血
283	後天性赤芽球癆
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血
285	ファンコニ貧血
286	遺伝性鉄芽球性貧血
287	エプスタイン症候群
288	自己免疫性出血病 XIII
289	クロンカイト・カナダ症候群
290	非特異性多発性小腸潰瘍症
291	ヒルシュスブルング病（全結腸型又は小腸型）
292	総排泄腔外反症
293	総排泄腔遺残
294	先天性横隔膜ヘルニア
295	乳幼児肝巨大血管腫
296	胆道閉鎖症
297	アラジール症候群
298	遺伝性睥炎
299	嚢胞性線維症
300	I g G 4 関連疾患
301	黄斑ジストロフィー
302	レーベル遺伝性視神経症
303	アッシャー症候群
304	若年発症型両側性感音難聴
305	遅発性内リンパ水腫
306	好酸球性副鼻腔炎

疾病の概要、診断基準、診断書（診療調査個人票）は、厚生労働省のホームページからダウンロードできます。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000084783.html>



患者会からのご案内!

講演会・交流会・催しのお知らせ

《三重心臓を守る会》(心臓病)

【相談会】

日時:平成 27 年 9 月 6 日(日)13:00~

場所:三重県難病相談支援センター
(津市桜橋 3 丁目 446-34)

内容:先天性心臓病の児童の教育相談会

講師:元小学校教師

参加費:会員無料、会員外 200 円

問い合わせ・申し込み

三重心臓を守る会 事務局 西村信子
TEL 059-255-4661

メール mieaburajima@yahoo.co.jp

《日本リウマチ友の会三重支部》(リウマチ)

【北勢地区医療相談会】

日時:平成 27 年 9 月 14 日(月)13:00~15:00

場所:四日市羽津医療センター 健康管理センター4 階
(四日市市羽津山町 10 番 8 号)

内容:相談会

講師:四日市羽津医療センター

佐藤良子先生、小寺仁先生

参加費:無料

問い合わせ・申し込み

日本リウマチ友の会三重支部

宇野 TEL 059-332-3479、渡辺 TEL 059-364-0545

【リウマチ相談会 in 鈴鹿】

日時:平成 27 年 9 月 26 日(土)14:00~15:30

場所:ジェフリーすずか (鈴鹿市神戸 2 丁目 15-18)

内容:相談会

講師:三重膠原病リウマチ痛風クリニック 整形外科院長
小川邦和先生

参加費:無料

問い合わせ・申し込み

日本リウマチ友の会三重支部

瀬川 TEL 0598-82-1346

【リウマチ相談会 in 志摩】

日時:平成 27 年 10 月 31 日(土)15:30~17:00

場所:西岡記念セントラルクリニック
(志摩市磯部町迫間 375)

内容:相談会

講師:西岡記念セントラルクリニック 院長 西岡洋右先生
伊勢赤十字病院 リウマチ膠原病科部長 大西孝宏先生

参加費:無料

問い合わせ・申し込み

日本リウマチ友の会三重支部

瀬川 TEL 0598-82-1346

《SCD・MSA 三重の会》(脊髄小脳変性症・多系統萎縮症)

【講演会】

日時:平成 27 年 9 月 27 日(日)10:00~11:30
(受付開始 9:30)

場所:三重県難病相談支援センター
(津市桜橋 3 丁目 446-34)

内容:転倒について

講師:松阪中央総合病院 リハビリテーションセンター
理学療法士 鬼塚達則先生

参加費:無料

定員:30 名

問い合わせ・申し込み

SCD・MSA 三重の会会員は返信用ハガキにて 9 月 17 日
まで、会員外は 9 月 15 日までに下記へ

SCD・MSA 三重の会 山本政春 TEL 0598-42-1547

当日連絡先 TEL 090-7693-6038

【クリスマス会と親睦会】

日時:平成 27 年 12 月 8 日(火)13:30~16:00

(受付開始 13:00)

場所:三重県津庁舎 6 階 大会議室
(津市桜橋 3 丁目 446-34)

内容:クリスマス会と親睦会 (「発声訓練」も行います。)

講師:音楽療法士 山本佳子先生

参加費:無料

問い合わせ・申し込み

SCD・MSA 三重の会 山本政春 TEL 0598-42-1547

会員への参加申込案内は後日郵送します。

《パーキンソンみえ》(パーキンソン病)

【市民公開講座】

日時:平成 27 年 10 月 18 日(日)14:00~15:30

場所:三重県人権センター

(津市一身田大古曾 693-1 TEL059-233-5501)

内容:医療講演「パーキンソン病ってどんな病気」

講師:日本赤十字社 大阪赤十字病院 神経内科部長
高橋牧郎先生

参加費:無料

定員:322 名 事前申込不要

問い合わせ・申し込み

パーキンソンみえ 森寺 TEL 059-388-5008

《三重後縦靭帯骨化症患者友の会》

(後縦靭帯骨化症、前縦靭帯骨化症、黄色靭帯骨化症)

【医療講演会】

日時:平成 27 年 11 月 3 日(火・祝)13:30~16:00
(受付開始 13:00)

場所:三重県津庁舎 6 階 大会議室
(津市桜橋 3 丁目 446-34)

内容:第一部 ロコモティブシンドロームと後縦靭帯骨化症
第二部 笠井教授と語ろう!

(皆さんの疑問や質問にお答えいただけます)

講師:三重大学 脊椎外科・医用工学 教授

笠井裕一先生 (三重後縦靭帯骨化症患者友の会・顧問)

参加費:無料

定員:70 名

会員以外の方の参加も歓迎しますが、整理の都合上、
事前に会長まで連絡をお願いします。

講演会終了後、患者家族交流会を予定しています。

問い合わせ・申し込み

三重後縦靭帯骨化症患者友の会 会長 嶋田忠彦

TEL 0596-22-2615/携帯 090-7309-5267